

平成20年度 第11回 保見地域会議 会議録

日 時：平成20年12月19日（金） 19：00～21：00

場 所：保見交流館 中会議室

出席者：地域会議委員：12名

会 長 鈴木 進

副会長 井原邦和

委 員 浅井雅之 粕谷 修 木下優嘉 篠田 修

杉山光弘 平野鋒芳 藤原敏範 松井隆哉

水嶋清行 渡辺秀己

猿投支所 今井 鉦 成田和伸 広瀬 智

傍聴人：なし

次第

- 1 地域会議会長あいさつ
- 2 協議1 保見地域のまちづくり（地域課題）について
- 3 情報交換 あったかフェスタについて
- 4 事務連絡 （1）保見地域会議だより第8号について
（2）愛知県地域づくり研修交流会について

議事等（要約）

協議1 保見地域のまちづくり（地域課題）について

事務局

- ・ 今後の進め方について事務局案を提示。

分科会（大畑小、東西保見小、伊保小の3グループ）形式で解決策を導き出すまで協議していく。この場合、各地域会議委員は該当する小学校区のグループで協議していく。

但し、テーマが出揃ったところで、参加したい分科会を選択できることとする。

毎回、分科会としてもグループ発表をすることとする。

（分科会の発表）

大畑小

- ・ 犯罪に対するの取組みが不足している。また、アンケート結果も、犯罪が実際におきてからと、おきる前ではかなり結果が異なると推測できる。従って、テーマは、「防犯」となった。
- ・ 登下校時の問題では、以下の2点がある。
今の季節は、暗くなってからの下校がある。
社会不安が増大している中、児童に危険が迫っているような状況である。
- ・ 防犯への取組み
アンケート結果からでも、不安を感じている方が多い。
具体策としては、門灯をつける、パトロール活動をする、防犯灯を増やすなどがある。

- 伊保小
- ・ 道路交通問題、高齢者対策、防災そして防犯と意見がでたが、一つのテーマとして絞りきれいでないので、次回も継続協議する。
 - ・ グループ協議では、道路交通問題では渋滞の緩和、歩道の確保、バイパスを含めた道路計画提案書の作成、高齢化対策では「高齢者のあしの確保」、防災では防災倉庫の鍵のあり場情報の整理、防災訓練の方法などが課題としてあげられた。防犯活動の継続そして連携が必要。
 - ・ 次回の継続協議は、道路交通問題と防災・防犯問題の二つを一つに絞りこむこととする。
 - ・ また、防災・防犯は関連するところもあり、両輪を進めることを掘り下げてからのテーマ選択とする。

- 東西
保見小
- ・ おいでんバスの利用、大井橋を中心とした交通渋滞も課題にあがったが、「防犯への取り組み」がテーマ選択された。
 - ・ 金融不安、臨時社員（期間労働者）の契約切りなど社会・経済不安が増えていることから、犯罪に繋がることが心配される。
 - ・ 各種不安から万引きの増加などの犯罪が心配である。
 - ・ 現在、防犯活動は60名の隊員と青パト4台で活動している。
 - ・ 外国人とのコミュニケーションが必要である。

- 委員
- ・ 今回からの分科会方式を続ける場合、テーマが複数出てきた場合、各分科会の人数も偏らない方が望ましい。従って、人数を調整するなかで、どの分科会へ参加するかの選択・異動は必要。

- 情報交換
事務連絡
- （1）あったかフェスタについて
「感動の玉手箱」のちらしを使用して説明。
平成21年2月22日（日）正午より、豊田市市民文化会館で開催する。エピソードを募集している。
 - （2）平成20年度愛知県地域づくり研修交流会開催案内
平成21年1月19日（月）午後2時より愛知県立大学学術文化交流センターにて開催。参加希望者は支所まで。

- その他
- 次回の地域会議**
日時：平成21年1月16日（金）午後7時から。
場所：保見交流館 中会議室
内容：保見地域まちづくり（地域課題）について